

施策	45	居住基盤の向上	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり
施策主管課	経営管理課	課長名	吉川弘人	内線	5251
政策担当部長名	建設部長 井坪憲俊				
施策関係課名	環境課、管理課、土木課、水道課、下水道課、下水浄化センター				
重点施策	関連計画	飯田市水道ビジョン(長期整備計画:H19~H38)、第1次飯田市下水道事業経営計画(H26~H30)、公園施設長寿命化計画(H25~H34)			

1 施策の目的

目的	対象	市民、市内滞在者、財産
	意図	生活・事業に必要な基盤が整う

2 現状把握

(1)対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度
住民人口	人	105,691	105,335	104,728	103,947	103,105	102,446	102,000
事業所数 (H24以降は5年ごとの調査予定) (H24経済センサス基礎調査5年毎)	箇所	6,922 6,848	-	-	6,411	-	-	6,400 6,800
成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
居住基盤に満足している市民の割合	%	75.5	79.1	80.7	79.1	80.1	82.9	80.0

(2)成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
行政	ニーズに応じた適切な基盤の整備を行う 事業、開発に対する規制、指導、監督を行う 良好なサービスの提供、適切な維持管理を行う	普及率(水道)(平成23年3月31日現在 98.8)人口 普及率(下水道)(平成23年3月31日現在 95.0)人口	98.9	98.9	98.9 99.0	99.0	99.5
			95.1	96.2	96.7	96.8	100.0

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項					
市民等	市民(利用者・受益者等)	適切な利用をする 受益の義務を果たす	利用率(下水の場合は水洗化率) 使用料金の未納者の率					
	事業者	ニーズに応じた適切な整備を行う 良好なサービスの提供、適切な維持管理を行う	トラブルの発生件数 (電気・ガス・電話(固定、携帯)・CATV)					
	地域的団体(まちづくり委員会等)	地域自ら取り組む居住基盤整備 維持管理の体制確保と実施(公園等)	・取り組み件数 ・活動人数(延べ日数)					

3 平成26年度の評価結果

(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

上下水道事業については水道ビジョン、第1次下水道事業経営計画に基づきおおむね計画どおり事業が実施できた。公園事業については公園施設長寿命化計画個所及び河川維持補修については補修必要個所を実施できた。
斎苑については支障なく火葬業務が継続でき、北部火葬場稼働による飯田市斎苑の経営方針の検討を行った。また、墓地造成により需要に応じることができ、墓地、公衆便所ともに良好な使用環境が提供できた。

【事務事業群テーマ別の評価】

<上下水道施設の長寿命化・維持管理>

・水道事業については妙琴浄水場の浄水方式の決定と浄水場更新整備事業及び鉛製給水管布設替事業の計画策定を行った。水道ビジョンの見直しについては諸事情により平成28年度に先延ばしをした。
・下水道事業については第1次下水道事業経営計画に基づき松尾浄化管理センター(1号脱水機、管理棟など)、管路等の長寿命化工事、耐震化工事などを実施した。

<下水道の水洗化の促進>

・第1次下水道事業経営計画の特別推進期間(H28まで)における水洗化の促進に向けて戸別訪問などを行い加入促進を図った。合併処理浄化槽72件の設置補助を行った。

<上下水道事業の安定経営>

・水道事業については水道ビジョン計画期間(H38まで)の長期財政見通しを策定した。詳細については平成28年度水道ビジョン見直し策定のなかで再検討する。下水道事業については平成28年度法適化に向けて会計システムの構築など移行作業を進めた。

公園

・公園の維持管理については年間を通じた清掃、芝刈、樹木剪定・消毒、遊具点検等を実施するとともに、公園施設長寿命化計画に基づき4公園(西鼎、今宮、神明、風越山麓)の遊具、トイレの改築・更新を実施した。子どもの森公園については2年連続で年間入園者が9万人を超え97,470人であった。

河川

・河川施設のパトロールや関係地区からの補修要望、緊急通報等により、市内河川施設の維持補修工事を24カ所実施した。
・河川施設の維持補修により、護岸施設の崩壊や河川埋塞等を防止し、河川災害による市民等に対する被害を未然に防止した。
・飯田市が管理する河川は広範囲に及び、未改修部分や施設の老朽個所が多数ある。危険個所や維持補修必要個所を把握し、計画的な修繕計画が必要である。

斎苑・墓地

・斎苑については設備の維持補修を行い、支障なく火葬業務が遂行できた。市外火葬場使用の皆様を支障なく補助ができた。北部火葬場供用による影響対策に取り組んだ。
・市営墓地4カ所の維持管理及び補修を実施。西部霊園の区画を増設し、23区画の使用権の売却ができた。

公衆便所

・市内15カ所の公衆便所を支障なく衛生的に維持管理し、良好な利用環境を提供できた。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

上下水道

・水道事業については水道ビジョン(H19～H38)に基づき事業を進め、平成28年度に水道ビジョン見直し策定に向ける。
・下水道事業については第1次下水道事業経営計画(H26～H30)に基づき、計画の柱である施設管理(長寿命化)・危機管理(耐震化)・経営管理(安定経営)を進める。

<上下水道施設の長寿命化・維持管理>

・水道事業については水道ビジョンに基づき妙琴浄水場更新整備事業や鉛製給水管布設替事業など計画的に進める。平成28年度の水道ビジョンの見直しに向けた準備を進める。
・下水道事業については第1次下水道事業経営計画に基づき、松尾浄化管理センター(管理棟、用水砂ろ過設備など)、管路等の長寿命化工事、耐震化工事などを進める。

<下水道水洗化の促進>

・第1次下水道事業経営計画の特別推進期間(H28まで)における水洗化率の向上を目指し、集合処理区の接続及び合併処理浄化槽設置に向けて一層の加入促進を図る。

<上下水道事業の安定経営>

・水道事業については水道使用量の減少に伴い料金収入の減は否めないが、支出の抑制を図りながら更なる安定経営に向けるため、平成28年度に水道ビジョンの見直し策定を行う。
・下水道事業については平成28年度からの公営企業会計適用(法適化)に向け、確実に会計システムの構築と移行事務を進める。

公園

・公園施設長寿命化計画(H25～H34)に基づき施設の改築・更新、維持補修を計画的・効率的に実施し、公園施設に係るコスト縮減を図る。

河川

・河川維持補修事業については、今後、飯田市が管理する準用河川台帳の整備を進め、危険個所や施設の老朽個所を把握し、河川改修事業と合わせて維持管理方針を検討する。

斎苑・墓地

・斎苑については引き続き設備の維持補修を行い、長寿命化を図る。北部火葬場供用による影響対策として、市外火葬場使用の補助要綱を改正し、斎苑利用率の向上を図るとともに、使用料の改定及び待合施設等の改善に取り組む。
・市営墓地4カ所の維持管理及び補修を実施し、良好な霊園環境を確保する。墓地需要に応えるべく、西部霊園の区画を増設し、使用権の売却を図る。

公衆便所

・維持管理及び修繕を行い、衛生的で良好な利用環境を確保する。

6 平成26年度事務事業 施策系統図

目標 施策4-5

対象
市民、市内滞在者、事業者

意図
生活・事業に必要な基盤が整う

成果指標

居住基盤のうち
水道・下水道に
満足できない
市民の割合
(副指標)

居住基盤に
満足している
市民の割合

上下水道

施設の長寿
命化・維持
管理

水洗化の
促進

安定経営

公 園

河 川

斎苑・墓地

公衆便所

